

## NEWS REPORT



令和5(2023)年度学術変革領域(A)  
植物気候フィードバック  
BVOC 気候調節

第23回

## 若手国際派遣

2026  
6/22-6/26

International Conference on Arabidopsis Research 2026 (シンガポール)



## International Conference on Arabidopsis Research 2026 in National University of Singapore



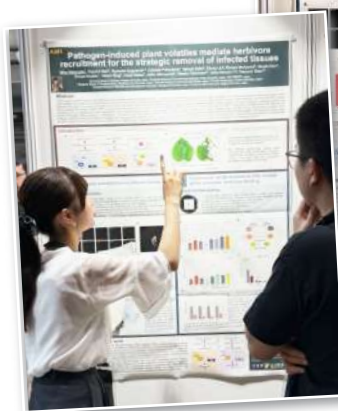
学会のメイン会場の様子

発生メカニズムおよび環境応答に関する最新の研究動向が紹介されるとともに、農業分野への実用化やバイオテクノロジーへの応用を見据えた研究についても、精力的な議論が展開されていました。このような歴史と権威ある会議への参加は、植物科学の最先端を走る世界の研究動向を包括的に捉え、自身の視野を広げる極めて有意義な機会となりました。

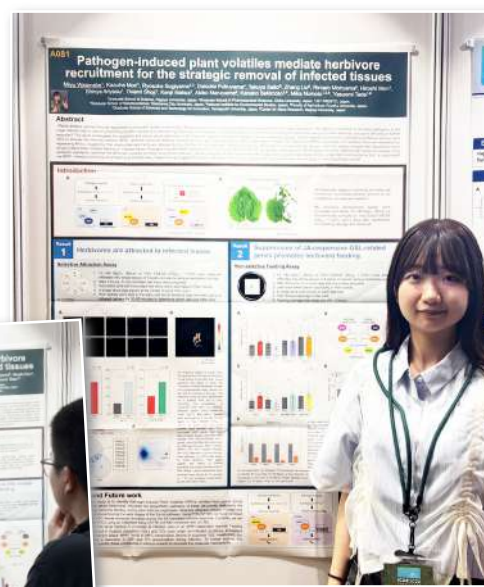
領域からの支援を受け、2026 年 6 月 22 日から 6 月 26 日の 5 日間にわたりシンガポール国立大学にて開催された、International Conference on Arabidopsis Research (ICAR) 2026 へ参加しました。本会議は、モデル植物シロイヌナズナに関する研究を中心として、40 年近くにわたり植物生物学の発展を牽引し続ける国際会議であり、毎年世界各地から 1,000 人以上の研究者が一堂に会します。本会議では、植物の生理・

植物の新規防御戦略について  
ディスカッション

植物は寄生菌やウイルスに感染するとサリチル酸応答を誘導して感染拡大を抑制することが広く知られていますが、本会議において私たちは、感染葉が BVOC を放出することで植食性昆虫を誘引し、昆虫に感染葉を摂食除去させるという研究成果について、ポスター発表を行いました。当日は、多岐にわたる分野を専門とする世界各国の研究者がポスターブースを訪れてくださり、BVOC の機能、防御戦略としての合理性、および実験系の最適化などについて活発な議論を交わしました。世界トップクラスの研究者の方々から多角的な助言を直接いただけたことは、私にとって今後の研究活動の糧となる貴重な財産となりました。



ポスター発表の様子



たくさんの方が興味を持って聞いてくださった



チャンギ国際空港 Jewel にある滝



シンガポール植物園の様子

## シンガポール植物園への訪問

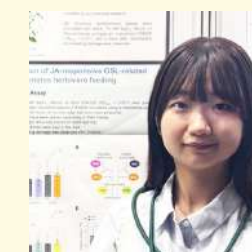
会議の合間には、Singapore Botanic Gardens (シンガポール植物園) を訪問し、熱帯地方の植生観察を行いました。1859 年に設立された本園は、特に園芸および熱帯植物学の保存、研究、および教育の面において世界最高峰の科学機関としての役割を担っています。82 ヘクタールにも及ぶ広大な敷地に一万種以上の植物が展示される本園への訪問は、非常に価値のある学びの機会となりました。園内では、特有の気候を生き抜くための形態的特徴を持った高木や、日本国内では見られない熱帯固有の植物群を観察しました。強い日差しや激しいスコールといった厳しい熱帯の環境に適応し進化を遂げてきた植物の奥深さに触れることができ、大変刺激に富んだ時間となりました。

あ  
と  
が  
き

本会議を通じて、

学術的知見には留まらない多くの刺激を得ることができました。海外の研究者を相手に英語で発表することは自身にとって初めての挑戦であり、非常に密度の濃い時間となりました。特に、現地でのディスカッションを通じて得た新たな知見や、そこで培った度胸は、これからの人生の中でも大きな糧となると感じています。この経験を、今後の研究活動にも活かしていく所存です。本会議への参加および渡航を支援して下さった関係者のみなさまに、深く御礼申し上げます。

## REPORTER



多田班 渡邊 美佑

名古屋大学大学院 理学研究科  
理学専攻 修士過程2年